

日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

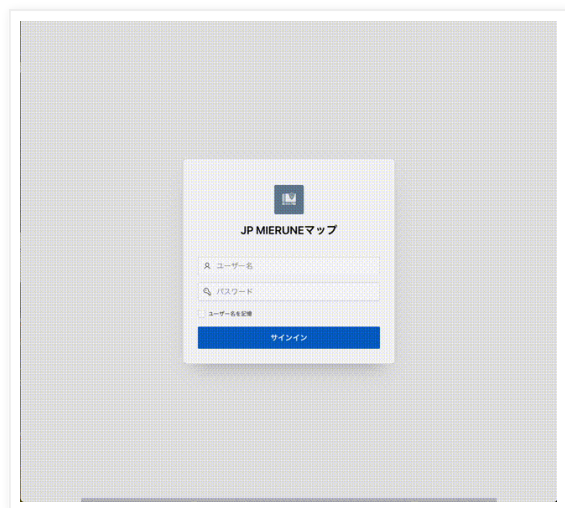
2023年10月26日 木曜日

テーマ・スタイルの選択に従ってマップ背景を切り替える

Oracle APEX 23.2で追加されたマップ・リージョンのマップ背景は、ユーザー・インターフェースのテーマ・スタイルの選択に従って切り替えることができます。

MapTiler CLOUDにあるJP MIERUNE GrayとJP MIERUNE Darkをマップ背景として作成します。テーマがライト・モードのときはマップ背景としてJP MIERUNE Grayを表示し、ダーク・モードのときはJP MIERUNE Darkを表示するようにします。

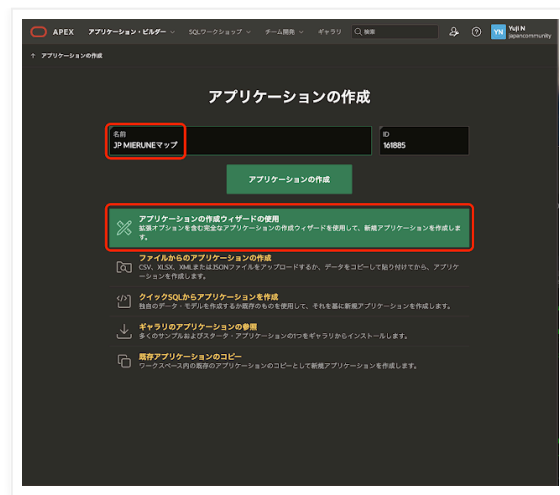
作成するアプリケーションは以下のように動作します。



以下より、アプリケーションを作成する手順を紹介します。

アプリケーションの**名前**は**JP MIERUNEマップ**とします。

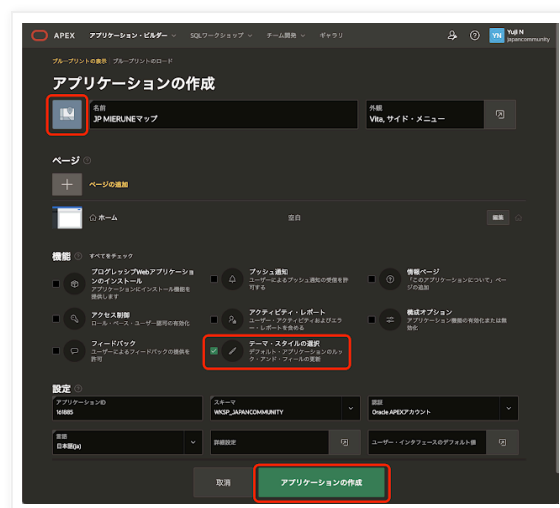
アプリケーション作成ウィザードを開始します。



必須ではありませんが、せっかくなのでアプリケーションのアイコンをクリックして、**地図のアイコンに変更**します。

機能のテーマ・スタイルの選択に**チェック**を入れ、作成するアプリケーションにテーマ・スタイルを切り替える機能を追加します。

アプリケーションの作成をクリックします。



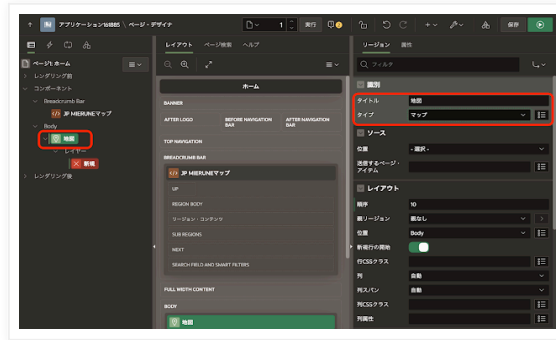
アプリケーションが作成されます。

ページ・デザイナーで**ホーム・ページ**を開き、**マップ・リージョン**を作成します。



Bodyの下に**リージョン**を作成します。

識別の**タイトル**として**地図**、**タイプ**として**マップ**を選択します。



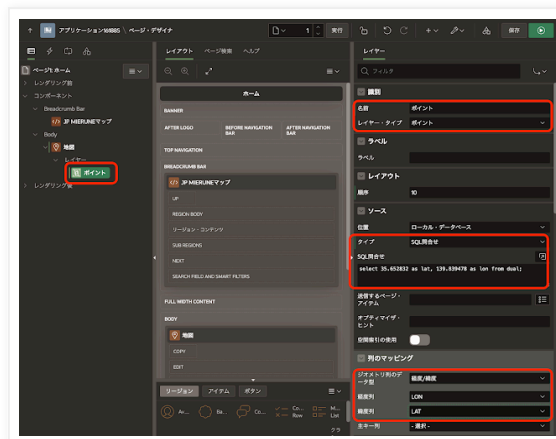
マップには最低でも1つのレイヤーが必要なので、レイヤーに最低限の設定を行います。

レイヤーの新規を選択し、識別の名前をポイントに変更します。レイヤー・タイプとしてポイントを選びます。

ソースのタイプにSQL問合せを選択し、SQL問合せとして以下のSQLを記述します。東京都の緯度経度を返しています。

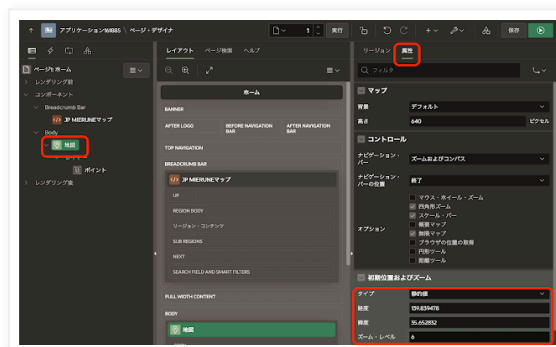
```
select 35.652832 as lat, 139.839478 as lon from dual;
```

列のマッピングのジオメトリ列のデータ型として経度/緯度を選択し、経度列としてLON、緯度列としてLATを選びます。

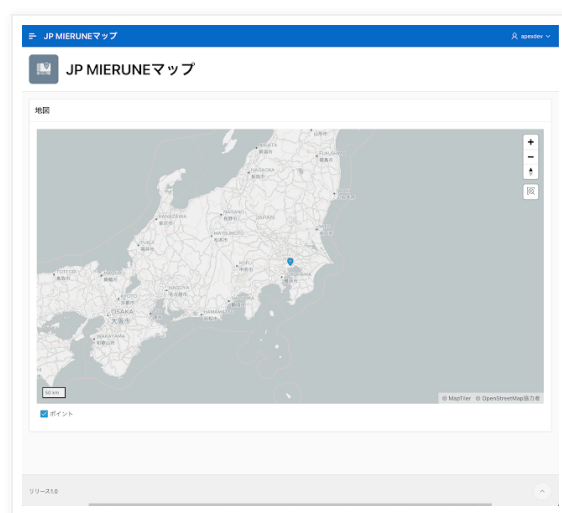


マップ・リージョンを選択し、属性タブを開きます。

初期位置およびズームのタイプを静的値とし、経度は139.839478、緯度は35.652832、ズーム・レベルを6として、東京の周辺を最初に表示するようにします。



この時点でアプリケーションを実行すると、デフォルトのマップ背景が表示されます。



共有コンポーネントのマップ背景を開きます。

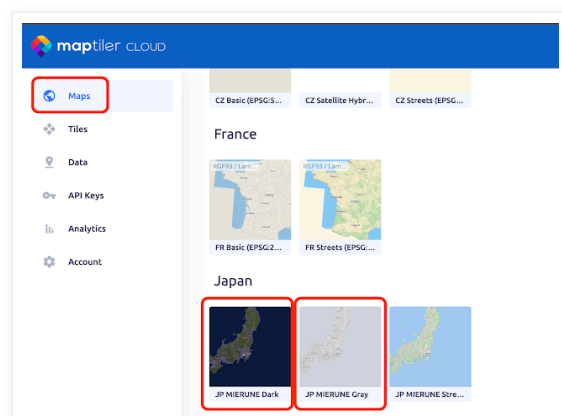
MapTiler CLOUDのJP MIERUNE GrayとJP MIERUNE Darkをマップ背景として作成します。



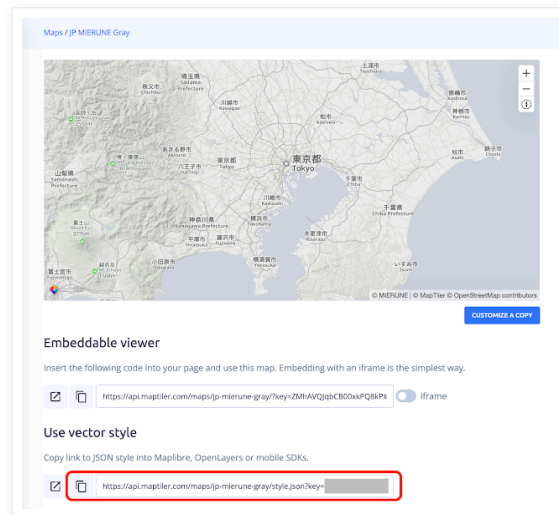
MapTiler CLOUDにアクセスし、JP MIERUNE GrayとJP MIERUNE DarkのスタイルシートをマップするURLとAPIキーを確認しておきます。

MapTiler CLOUDのMapsにアクセスします。

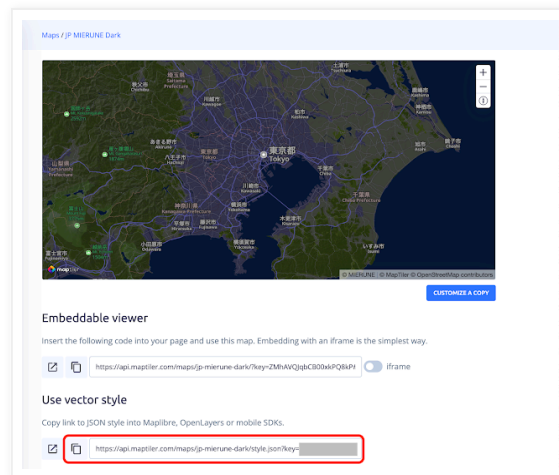
<https://cloud.maptiler.com/maps/>



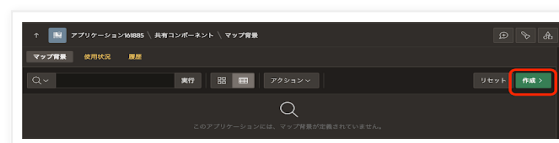
JP MIERUNE Grayを開き、Use vector styleのURLをコピーして保存しておきます。



同様にJP MIERUNE Darkも、Use vector styleのURLをコピーして保存しておきます。



Oracle APEXのマップ背景に戻り、作成をクリックします。

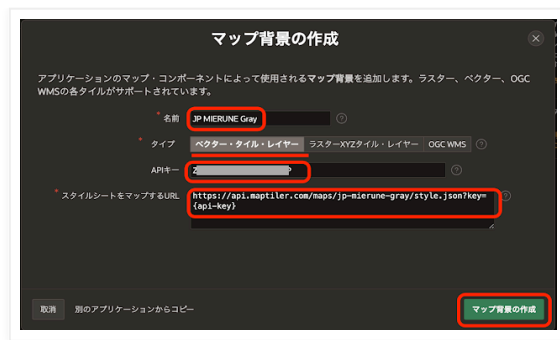


最初にマップ背景としてJP MIERUNE Grayを作成します。

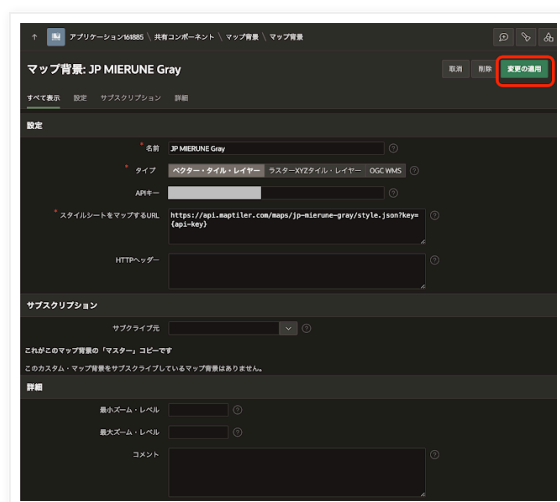
名前はJP MIERUNE Gray、タイプとしてベクター・タイル・レイヤーを選択します。APIキーはMapTiler CLOUDよりコピーしたURLのkey=以降の値を設定します。スタイルシートをマップするURLとして以下を設定します。

`https://api.maptiler.com/maps/jp-mierune-gray/style.json?key={api-key}`

マップ背景の作成をクリックします。



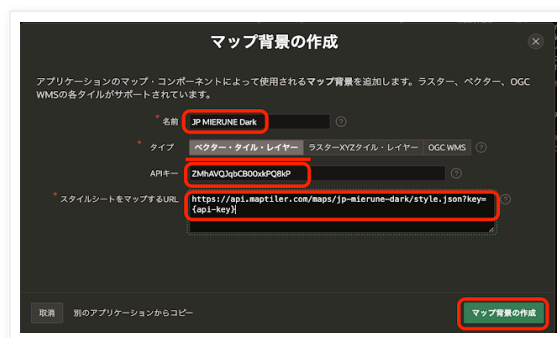
マップ背景の編集画面が開きます。特に設定は変更しないので、**変更の適用**をクリックします。



同様の手順でJP MIERUNE Darkのマップ背景を作成します。

名前はJP MIERUNE Dark、スタイルシートをマップするURLとして以下を設定します。

<https://api.maptiler.com/maps/jp-mierune-dark/style.json?key={api-key}>



マップ背景としてJP MIERUNE GrayとJP MIERUNE Darkが作成されたら、マップ背景の準備は完了です。

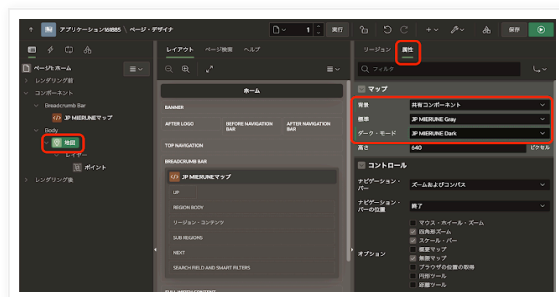


ページ・デザイナーでホーム・ページを開きます。

マップ・リージョンを選択し、プロパティ・エディタの属性タブを開きます。

マップの背景として共有コンポーネントを選択し、標準としてJP MIERUNE Gray、ダーク・モードとしてJP MIERUNE Darkを設定します。

これで、ユーザー・インターフェースのテーマ・スタイルの選択に従って、マップ背景が変わるようになりました。



アプリケーションを実行し、エンド・ユーザーによるテーマ・スタイルの選択を許可します。

ナビゲーション・メニューの管理を開き、テーマ・スタイルの選択を開きます。

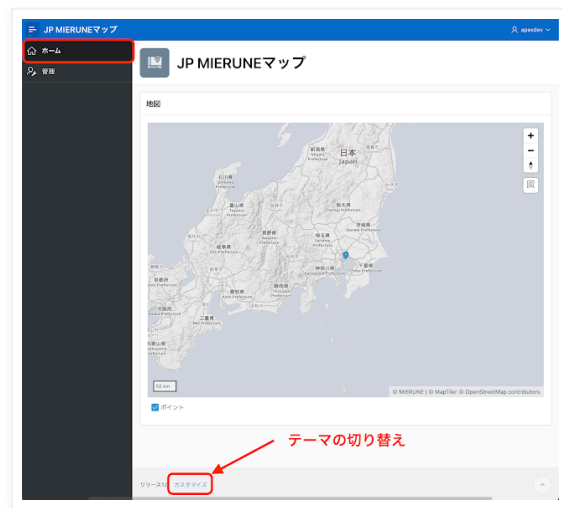


開いたダイアログのエンド・ユーザーによるテーマ・スタイルの選択を許可にチェックを入れます。

変更の適用をクリックします。



ナビゲーション・メニューよりホームを開きます。フッターの領域にカスタマイズというリンクが表示されます。

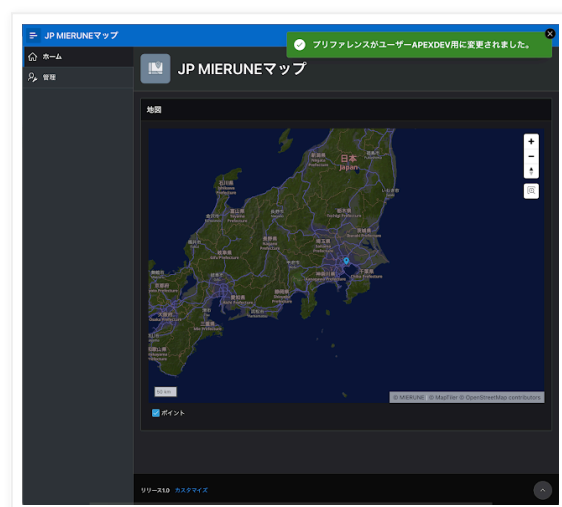


カスタマイズのリンクを開いて、テーマ・スタイルとしてVita - Darkを選択します。

変更の適用をクリックします。



全体のテーマ・スタイルがダーク・モードになり、マップ背景もJP MIERUNE Darkに切り替わります。



テーマ・スタイルに従ったマップ背景の切り替えの実装は以上で完了です。

最後に、ユーザーが選択できるテーマ・スタイルを、VitaとVita - Darkに限定します。

共有コンポーネントのテーマを開きます。



アプリケーションに適用されているテーマである**Universal Theme**を開きます。



スタイルのセクションを選択します。

スタイルの内、VitaとVita - Darkを除く、**Redwood**、**Vita - Red**、**Vita - Slate**の**パブリック**を**オフ**に変更します。



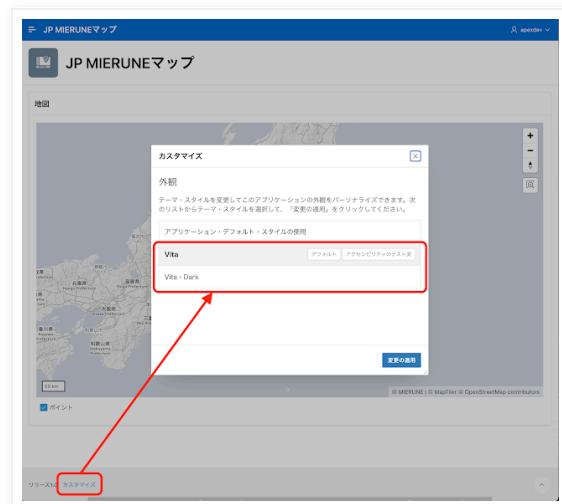
編集画面を開き、**パブリック**を**オフ**に変更します。パブリックがオフの場合、エンド・ユーザーは、このテーマ・スタイルを選択できなくなります。



Vitaと**Vita - Dark**のみが**パブリック**が**オン**になるように変更し、テーマの**変更の適用**をクリックします。



エンド・ユーザーが**カスタマイズ**をクリックすると、選択できるテーマ・スタイルが**Vita**と**Vita - Dark**のみになっていることが確認できます。



以上でAPEXアプリケーションは完成です。

Oracle APEXのアプリケーション作成の参考になれば幸いです。

完

Yuji N. 時刻: 10:36

共有



ホーム



[ウェブ バージョンを表示](#)

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.